

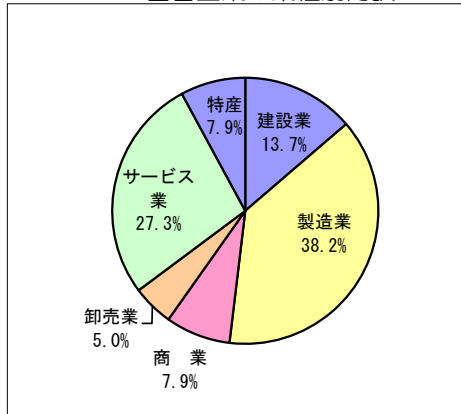
小野商工会議所会員事業所 景気調査（2021年第3四半期）集計結果

2021年11月1日

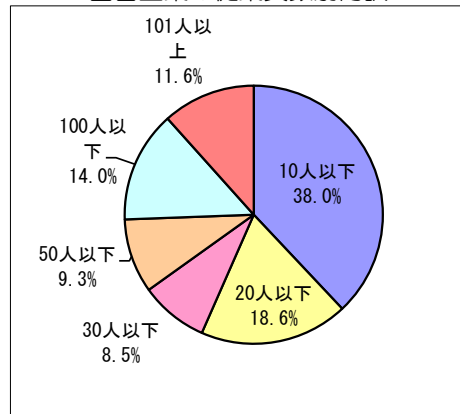
アンケート回答企業数 139社 （アンケート送付数 215社）
 回収率 64.7%

調査対象期間 2021年7月～9月
 比較対象期間 前年同期 2020年7月～9月
 前 期 2021年4月～6月
 来 期 2021年10月～12月

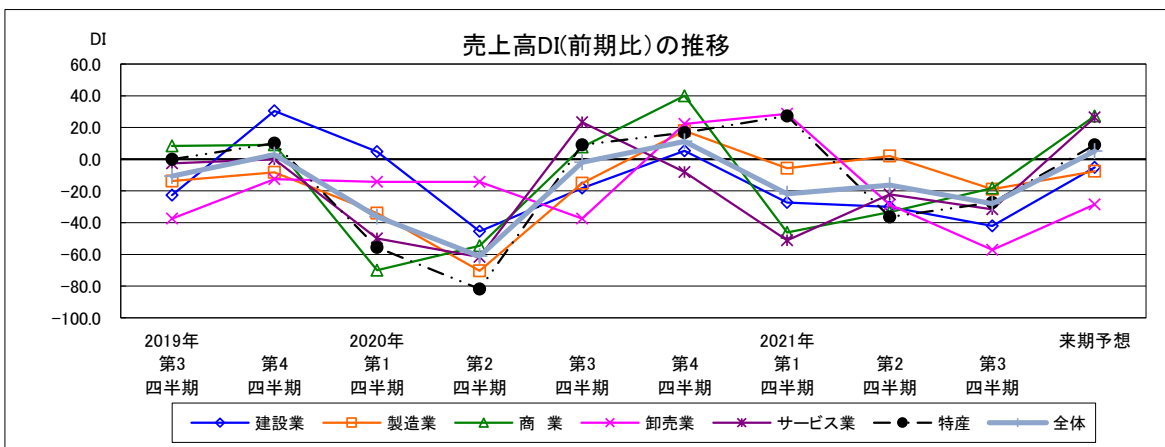
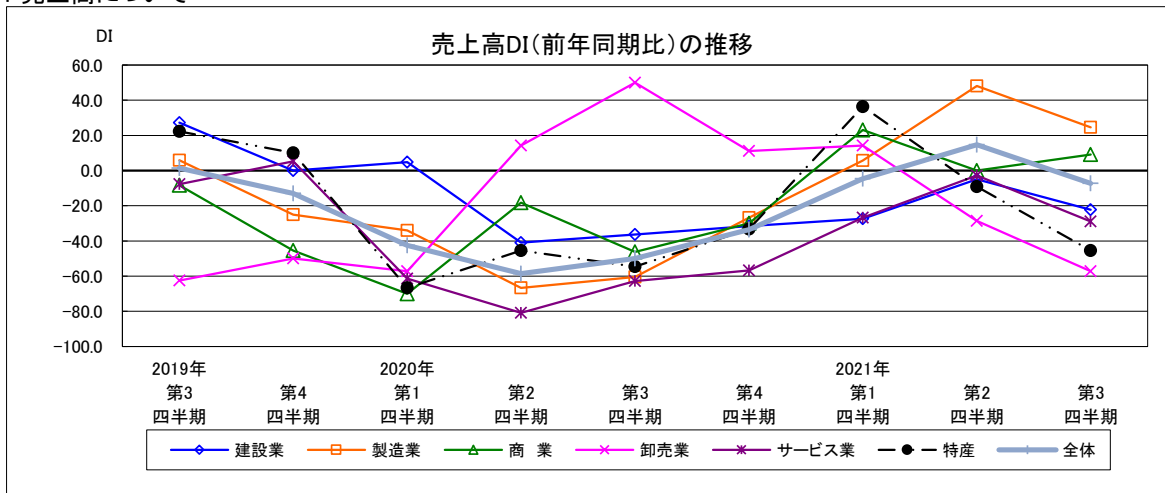
回答企業の業種別内訳



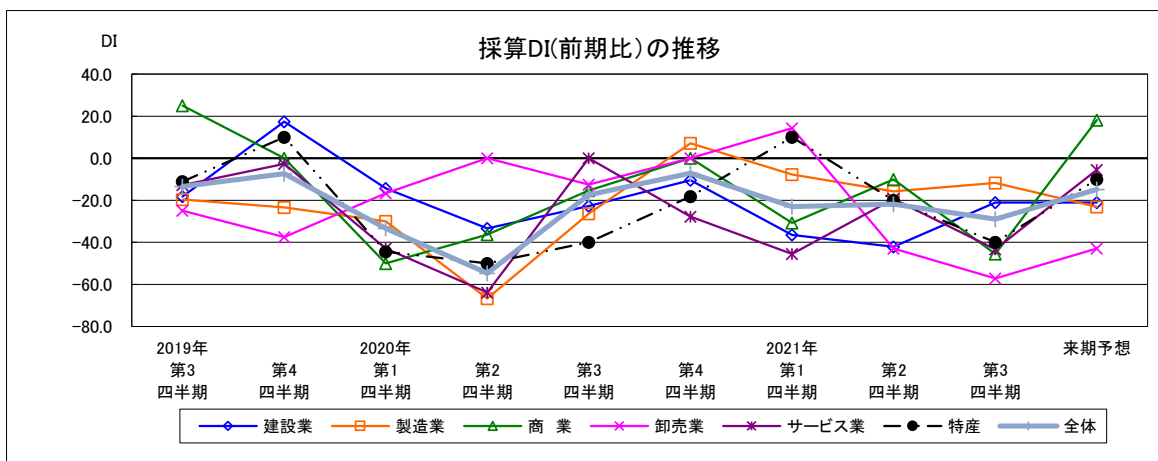
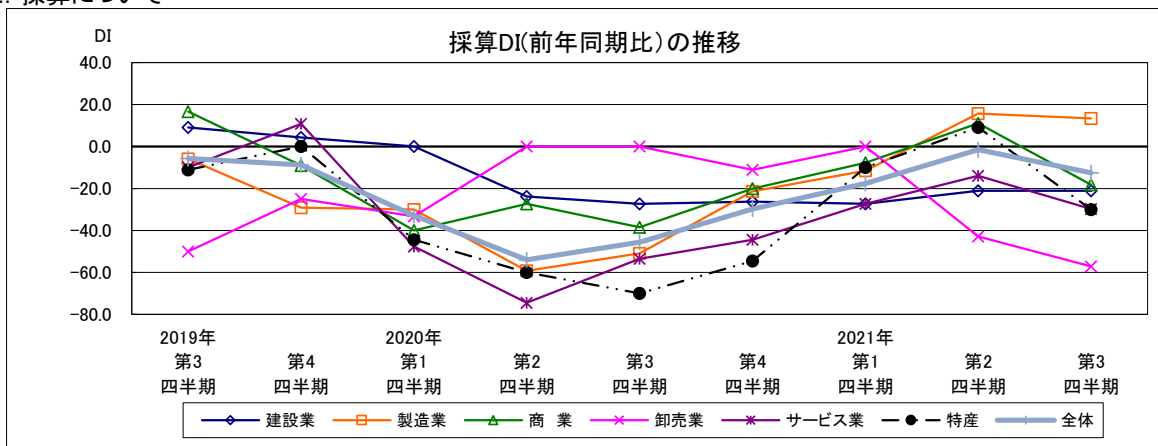
回答企業の従業員数別内訳



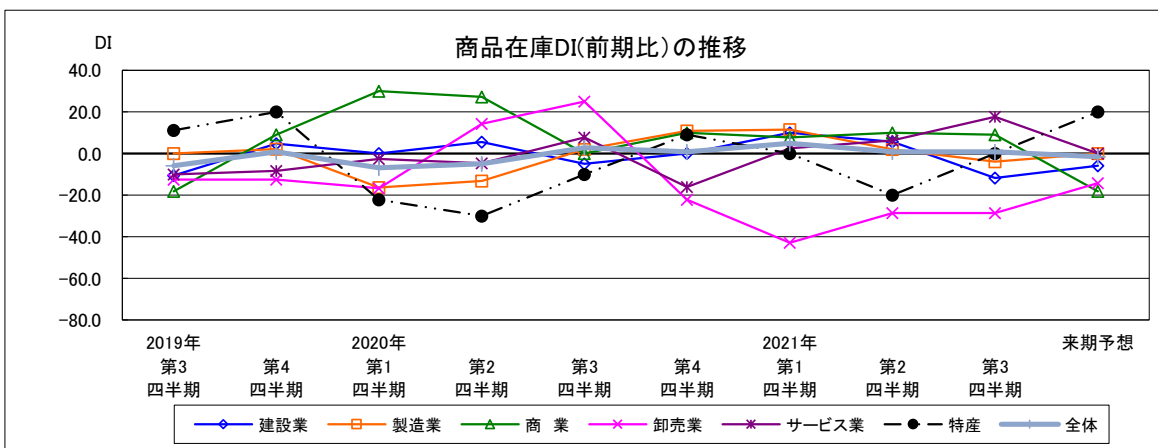
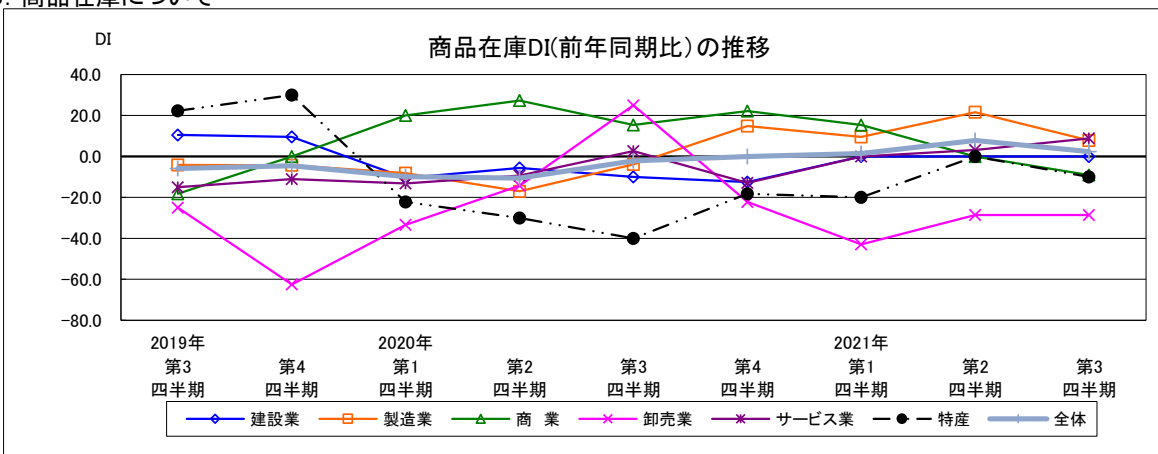
1. 売上高について



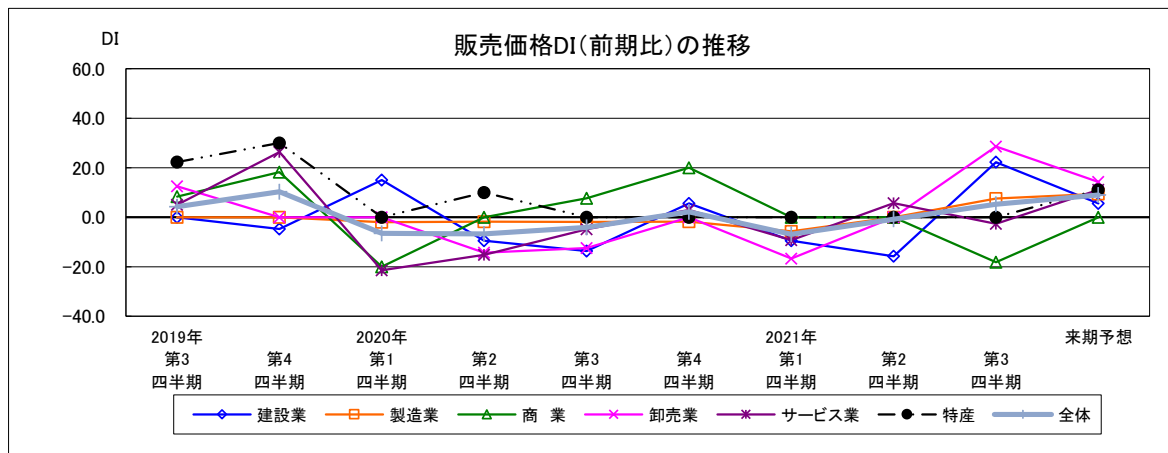
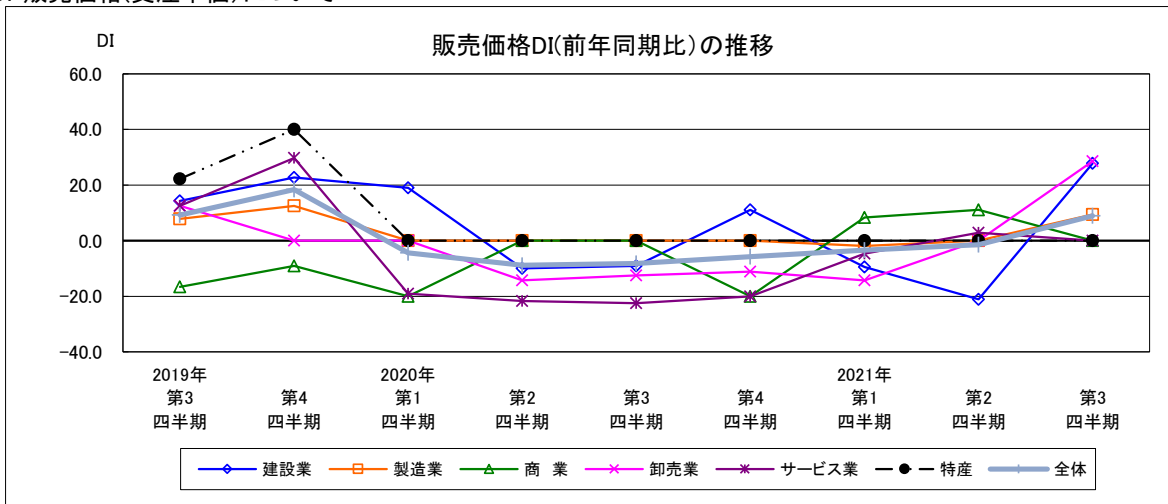
2. 採算について



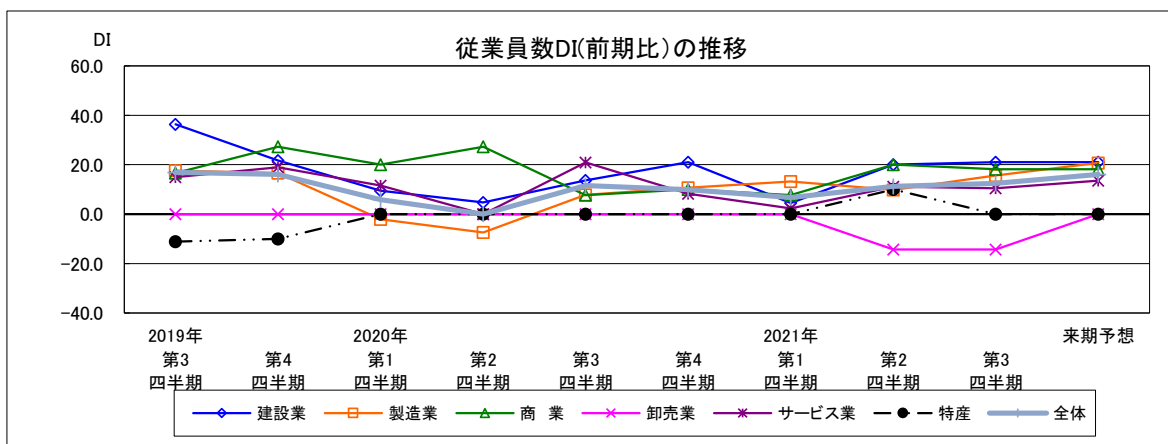
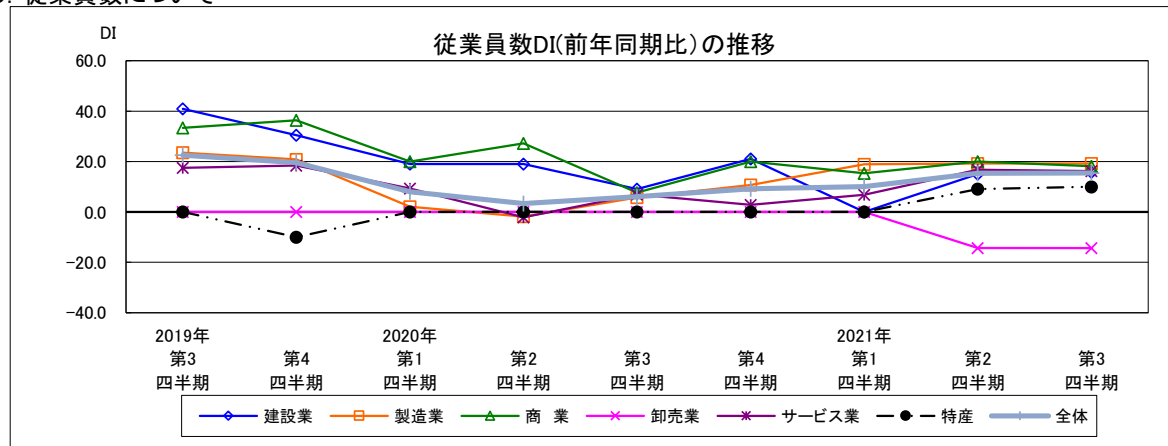
3. 商品在庫について



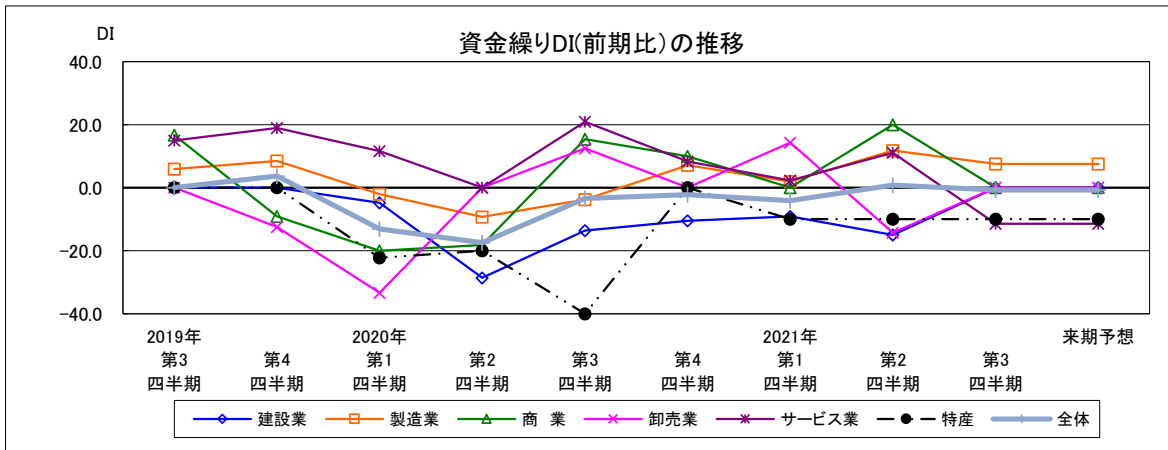
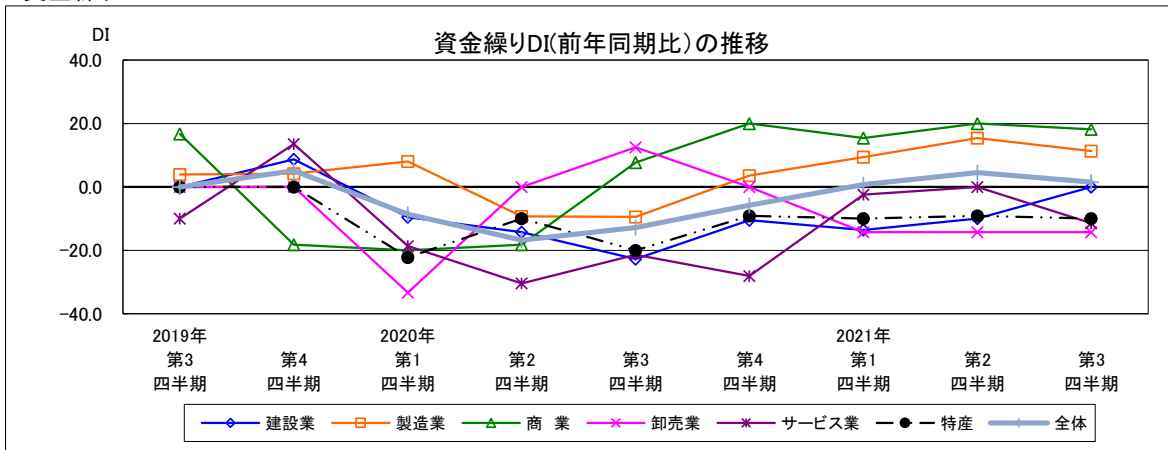
4. 販売価格(受注単価)について



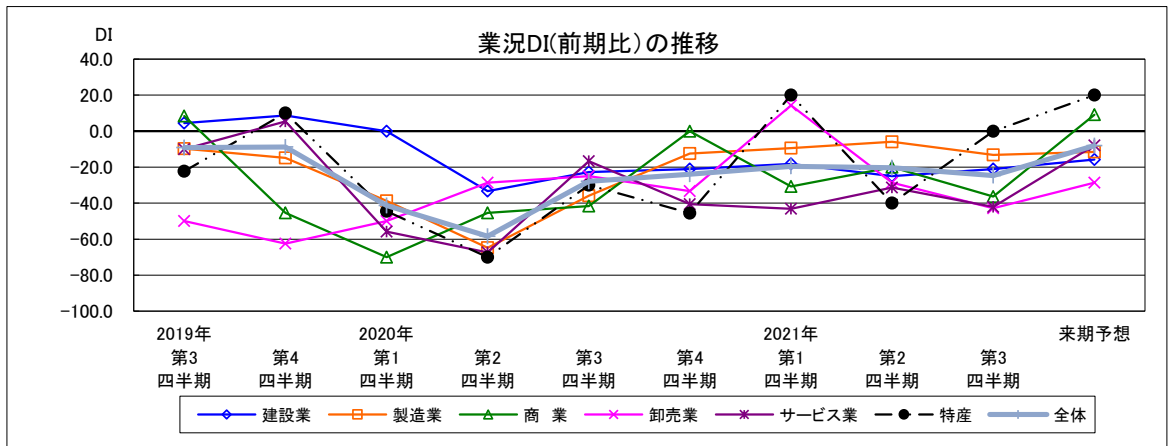
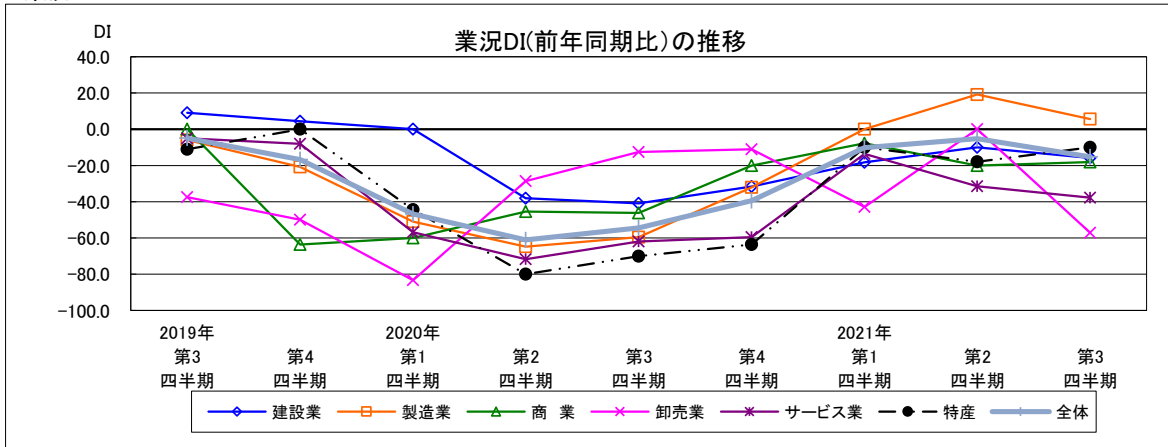
5. 従業員数について



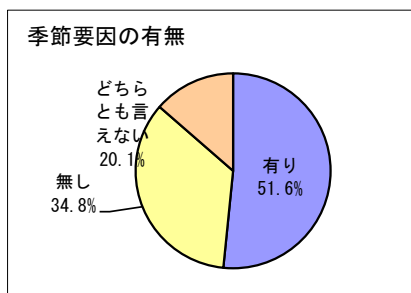
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- 公共工事については、コロナ禍の悪影響もほとんど無く、例年通りの業績が見込めそうである。ただし、顧客先の人材不足、特に若手人材を獲得する為には業界全体での休日取得等が必要である。
- 仕入原材料費高騰等により採算に影響している
- 年度内の受注状況は安定している。公共工事に対応できる資格者、社会保険加入、正社員、作業員の要求と差別化が進んでいる。建設作業員の働き方改革が進み、若者にとって魅力ある職種になってほしい
- 今後、鋼材の値上げ、並びに品不足により収益圧迫と工期の遅延が予想される

○製造業

- 原材料高騰。海洋プラ問題。新卒採用困難
- 原材料値上げによる採算性悪化傾向
- 現時点先が読みずらく、慎重に行動する様になっています
- 若干冬用タイヤの需要が伸びていく感あり（道交法改定の影響？）
- 冷凍事業拡大に伴う、保管設備増強が必要だが、土地を含め良い案件がない
- 受注はあるも野のまとまった急な納期バックがあるので受注に対して売上げが伸びない（過剰発注のため）材料費高騰に対して販売価格据え置きなので採算が悪くなっている（これから交渉していく予定）

○商業

- 旅行や諸行事の中止・縮小により菓子詰め合わせ等が減少。保育所や学校が通常通り行われているのでありがたい。

○卸売業

- 製品の調達面で東南アジア分が7月から生産が出来なくなった

○サービス業

- 海外のロックダウンにてガス機器の入荷が一部ストップし在庫、売上に影響があります。
- 短い期間での比較ではほぼ不変であるが5年前と比べると売上、従業員数等減少、縮小しています。
- 天候不良でエアコンクリーニングが不調で非常に厳しい状況です。活況だった昨年に新規参入が増えましたが今は需要は飽和状態にありつつあります。休廃業する業者も出てきています。
- 海外からの部品調達がなされない為配送便が停止して運行の目途がつかない
- 7月～9月はカフェを営業せずにかき氷に貸していたため、またコロナの影響で前年度4～6月に比べると悪かったが10月よりカフェを再開し、他事業も合わせて少しづつ立て直しを計っている。
- コロナによる影響はまだまだ残り席数を減らすことで集客数が減った。またこれからも席数を増やすことができないため回転率をよくするしないと考えている。施設の改修が必要と考えている。
- 三密、イベントの自粛から対面の環境が生まれず案件も減少傾向で売上低下が目立ったしかしながらコロナの状況で変化を試みる企業から補助金からみの案件が入りまた国のサポートなどもあり乗り越えることが出来ている